

令和6年度 さいたま市立宮原小学校

1 学校教育目標

(1) 学校教育目標

心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成

- ◇ たがいに努める子 (かしこく)
- ◇ たがいにきたえる子 (たくましく)
- ◇ たがいに手をとる子 (やさしく)

(2) 目指す児童像

- ◇ たがいに努める子 (かしこく)
 - ・めあてをもってやりぬく
- ◇ たがいにきたえる子 (たくましく)
 - ・健康に気を付けて過ごす
- ◇ たがいに手をとる子 (やさしく)
 - ・あいさつや返事ができる

(3) 目指す学校像

宮原小の152年の伝統を受け継ぎ

信頼を土台に子ども一人ひとりが輝ける学び舎

○具体的な学校像

- ◇ 子ども一人ひとりが輝ける学校
 - ・元気に、安心して生活が送れる学校
 - ・意欲的に、主体的に学べる学校
 - ・夢を叶える、未来を切り拓く力が身に付く学校
- ◇ 保護者、地域が信頼して子どもたちを通わせることができる学校
 - ・保護者や地域の声や願いを真摯に受け止める学校
 - ・我が子を通わせることに誇りをもてる学校
- ◇ 教職員が勤めてよかったと思える学校
 - ・やりがいや働きがいを感じられ、個々の力が生かせる学校
 - ・共に学び合い、磨き合い、協力しあえる学校

2 学校経営方針

(1) 経営方針

「宮原の地にかがやく学び舎」を目指して

一人ひとりの子どもに寄り添う教育を真摯に行い、「信頼」を確立します。

(2) 令和6年度の重点課題

① 新たな指標を踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を推進する。

- ・新たな指標に基づいた授業改善に取り組み、主体的対話的で深い学びができる授業づくりを実践する。

② 「さいたま市スマートスクールプロジェクト（SSSP）」による子ども一人ひとりの個性や特性に応じた教育活動を推進する。

- ・子どもたちが ICT を駆使して主体的に探究することができる「学び方改革」ダッシュボードに蓄積された教育データを利活用し子ども一人ひとりへの最適な指導・支援を目指す「教え方改革」、校務用端末を活用した校務の効率化による業務改善を目指す「働き方改革」に努める。

③ 子どもたちが参画するコミュニティ・スクールを推進する。

- ・子どもたちの声が学校運営や地域活動などに反映されるように、学校運営協議会での教職員・保護者・地域住民・子どもたちの4者の連携を強化する。

3 学校経営の努力点

「よく学び、よく遊び、よく働く」子どもを育てる

(1) 豊かな心、豊かな人間性の基礎をはぐくむ指導の充実、徹底

三つの基本

- あいさつ・返事（社会性、相手を尊重する意識の基本）
- くつのかかとをそろえる（基本的な生活習慣の確立）
- チャイム着席（集団生活、規範意識の醸成）

(2) 確かな学力の定着

(3) 健康・体力向上と安全な学校づくり

(4) 積極的な生徒指導

(5) 開かれた学校の推進

(6) 教職員としての意識の向上